

中外ライフサイエンスパーク横浜の環境保全への取り組み

中外製薬は新たな研究拠点として「中外ライフサイエンスパーク横浜」を2022年10月に竣工し、2023年4月より本格稼働しています。中外ライフサイエンスパーク横浜の施設コンセプトは、「Green Innovation Village～緑の中に点在する、最先端創造研究所」です。敷地内には緑を多く取り入れ、地域社会との調和を図ったデザインとしています。環境負荷の低減を目指して、最新の照明や空調システム等を活用した省エネルギー化と自然エネルギーの利用による創エネルギー化を図り、環境との共存やサステナビリティ、安全性にも配慮しています。



気候変動対策

(CO₂ 排出量削減、フロン使用量削減)

中外製薬では気候変動対策を最重要項目と捉え、2050年までにCO₂排出量をゼロとする、1.5°C目標に準拠した目標を掲げて取り組んでおります。そのために中外ライフサイエンスパーク横浜では、エネルギー消費量削減やサステナブル電力導入を進めています。また、地球温暖化への影響が大きいフロンガスについても自然冷媒への転換を進めています。



太陽光発電装置の導入

太陽光発電装置の導入

居室棟の屋上には太陽光発電パネルを設置し、発電された電気は、事業所内に送電され、照明や空調に利用し、購入する電力量やCO₂排出量削減に寄与しています。

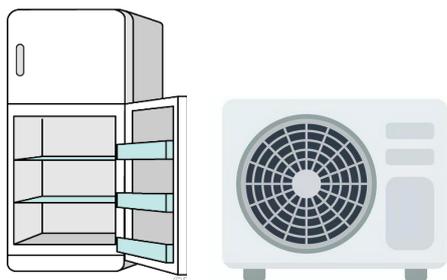
サステナブル電力の調達購入

水力発電によるCO₂排出の無い、クリーンなサステナブル電力を調達購入し、CO₂排出量削減を行っています。



【水力発電】

サステナブル電力の調達



自然冷媒機器の導入

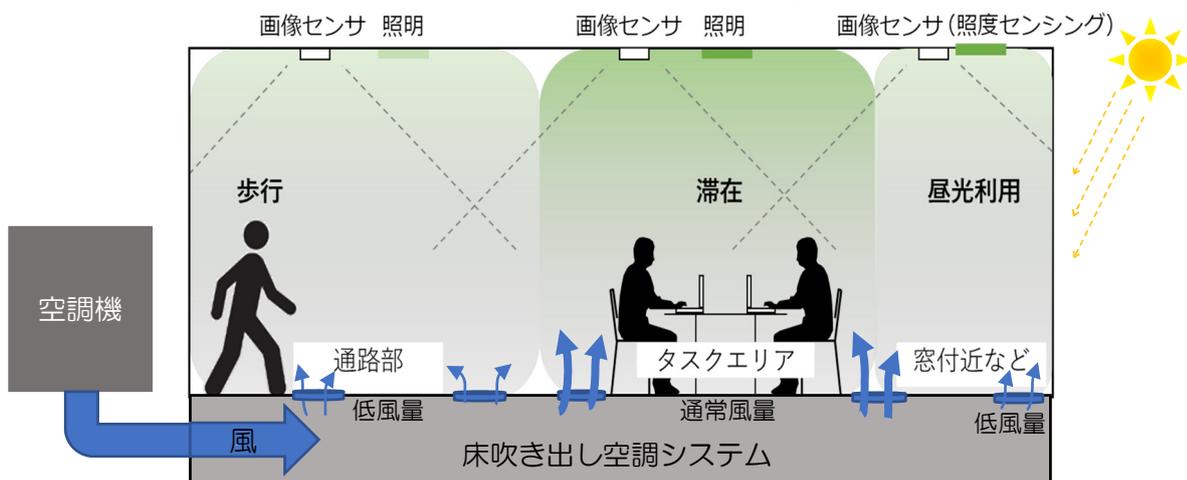
自然冷媒機器の導入

実験室などで使用する冷凍冷蔵庫には炭化水素系冷媒の機種を採用し、脱フロン化しました。また、実験用低温室や食堂食品用冷蔵庫にはCO₂冷媒を使用した冷却システムを導入しています。



気候変動対策

(エネルギー使用量削減)



画像センサを利用した省エネ照明制御,空調制御

オフィスでは最新の ICT 技術を活用した、採光・照明・空調制御を行い、人が滞在している場所に焦点を当て効率的に、照明、空調を行い、無人エリアは自動的に消灯や空調風量の低減を行います。また、窓ガラスのブラインドも日照に伴い自動で制御し、積極的な昼光利用を行います。

循環型資源の利用

(水使用量の削減)



雨水の貯留&再利用

居室棟では、雨水貯留槽、雨水汙過装置を設けて、雨水の再利用をしています。

汙過された雨水は、主にトイレの流し水や屋外緑地への散水に使用して、水使用量の削減に取り組んでいます。



雨水の利用



トイレの流し水



緑地への散水

